

## 日本成人心臓血管外科手術データベース(JACVSD)報告

委員長 高本眞一

2003年10月

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

### (1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。現在全国で 62 施設が参加しており、2003 年 10 月 06 日の時点で入力総症例数 3840 となった。

### (2) 英語版の完成とアジア諸国への展開

本データベースの英語版が完成し、2月14日(金)に開催された第11回アジア心臓血管外科学会データベース委員会で披露された。その際、韓国・マレーシア・シンガポール・インド・中国の国々がこのデータベースに参加し、パイロットスタディを始めることが決定した。

### (3) 「日本心臓血管外科手術データベース機構」

本データベースがさらに拡大発展し、なおかつ健全なる運営をはかる目的で、これらを統轄する組織として「日本心臓血管外科手術データベース機構」の設立が不可欠のものとなった。特に、参加施設が62施設になることにより、事務局業務が拡大し専門職員が必要となる。また、施設拡大により運営資金も莫大なものとなり、研究費などでまかなうことは不可能となる。よって、経済的にも運営面でも確固たる基盤として機能する「データベース機構」が必要不可欠であると考えた。以上の経過が日本胸部外科学会理事会において説明され承認された。

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。現在全国で 64 施設が参加しており、2004 年 1 月 16 日の時点で入力総症例数 5251 となった。

(2) 「日本心臓血管外科手術データベース機構」の発足

昨年設立が承認された「日本心臓血管外科手術データベース機構」が、川島康生、古瀬彰、矢崎義雄、北村惣一郎の各氏を顧問とし、また高本眞一 JACVSD 委員長を代表幹事として具体的に発足され、2003 年 11 月 19 日に設立総会が開かれた。今後この機構を中心としてデータベース事業が引き継がれていく予定である。

(3) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局に岡田昌史氏 (東京大学医学部心臓外科助手。公衆衛生、コンピュータープログラムの専門家。) を迎え、入力プログラムの改良を開始した。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データオンタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる。

(4) 米国胸部外科学会データベース委員会 (STS National Database Meeting) 出席

2004 年 1 月 25 日、San Antonio (Texas, U. S. A.) で開かれた STS National Database Meeting に高本眞一委員長、本村昇・岡田昌史委員が出席し、JACVSD の現状を報告した。この中で特に、大血管手術のリスクモデル作成に期待が寄せられた。

(5) 小児心臓外科領域の現状

STS National Database 小児心臓外科部門では欧米 16 施設と協力し 12000 例以上を集め、これからアリストテレススコア (疾患難易度と死亡率を考慮した総合的スコア) を算出している。本邦においても小児領域でのデータベース整備が急務と思われる。

日本胸部外科学会  
データベース小委員会報告  
日本成人心臓血管外科手術データベース (JACVSD)

委員長 高本眞一  
2004年3月

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。現在全国で 64 施設が参加しており、2004 年 3 月 15 日の時点で入力総症例数 6029 (入力完了数 4669) となった。

(2) 「日本心臓血管外科手術データベース機構」の発足

昨年設立が承認された「日本心臓血管外科手術データベース機構」が、川島康生、古瀬彰、矢崎義雄、北村惣一郎の各氏を顧問とし、また高本眞一 JACVSD 委員長を代表幹事として具体的に発足され、2003 年 11 月 19 日に設立総会が開かれた。今後この機構を中心としてデータベース事業が引き継がれていく予定である。

(3) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局に岡田昌史氏 (東京大学医学部心臓外科助手。公衆衛生、コンピュータープログラムの専門家。) を迎え、入力プログラムの改良がなされた。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データリアルタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる。

(4) 米国胸部外科学会データベース委員会 (STS National Database Meeting) 出席

2004 年 1 月 25 日、San Antonio (Texas, U. S. A.) で開かれた STS National Database Meeting に高本眞一委員長、本村昇・岡田昌史委員が出席し、JACVSD の現状を報告した。この中で特に、大血管手術のリスクモデル作成に期待が寄せられた。

(5) 小児心臓外科領域の現状

STS National Database 小児心臓外科部門では欧米 16 施設と協力し 12000 例以上を集め、これからアリストテレススコア (疾患難易度と死亡率を考慮した総合的スコア) を算出している。本邦においても小児領域でのデータベース整備が急務と思われる。

(6) 参加施設の見直し

現在全国で 64 施設が参加しているが、いまだに入力がゼロあるいは殆

どゼロといった施設も見受けられる。施行手術の全てを入力するという本データベースの趣旨に鑑み、これら入力少数の施設は一度本プロジェクトから脱会していただき、本データベースの趣旨を充分再考して頂いた後に次回施設公募時に改めて参加して頂くこととする。これまでの入力数がゼロあるいは殆どゼロといった施設を以下に示す。

2004年2月4日現在		
施設名	入力総数	入力未完了数
心臓病センター榊原病院	572	12
埼玉医科大学	442	31
東京大学	399	26
東北大学	329	6
大阪市立大学	319	4
大阪大学	266	36
国立九州医療センター	252	70
大阪市立総合医療センター	249	2
社会保険広島市民病院	243	61
東京女子医科大学	242	186
名古屋大学	155	29
福島県立医科大学	147	38
熊本中央病院	144	28
榊原記念病院	133	120
市立旭川病院	132	54
北海道大学	114	31
札幌医科大学	105	47
神戸大学	89	18
佐賀医科大学	69	28
東京都済生会中央病院	57	10
船橋市立医療センター	56	15
熊本大学	54	2
宮崎市郡医師会病院	54	0
信州大学	53	11
国立循環器病センター	51	51
岩手医科大学	51	39
川崎医科大学	49	49
弘前大学	48	30
鹿児島大学	46	45
藤田保健衛生大学	46	8
横浜労災病院	45	0
九州大学	45	0
京都府立医科大学	45	5
佐賀県立病院好生館	40	28
関西医科大学	40	35
広島市立安佐市民病院	37	1
和歌山県立医科大学	36	8
兵庫医科大学	33	2
奈良県立医科大学	32	4
徳島大学	29	29

富山医科薬科大学	27	7
東京女子医大第二病院	22	5
浜松労災病院	22	1
山口大学	22	13
東邦大学大森病院	14	0
九州厚生年金病院	14	4
公立陶生病院	12	4
東京医科大学	10	0
自治医科大学	8	2
姫路循環器病センター	5	3
京都大学	4	2
聖マリアンナ医科大学	4	4
日本医科大学	1	1
虎ノ門病院	0	0
葉山ハートセンター	0	0
国立療養所帯広病院	0	0
東日本循環器病院	0	0
東邦大学大橋病院	0	0
大垣市民病院	0	0
名古屋市立大学	0	0
琉球大学	0	0
愛媛県立中央病院	0	0
りんくう総合医療センター	0	0

日本心臓血管外科学会、データベース委員会報告  
日本成人心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年7月

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。2004年7月21日の時点で入力総症例数 7889 (入力完了数 6118) となった。

(2) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局、岡田昌史による入力プログラムの改良がなされた。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データリアルタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる (資料図1)。

(3) 小児心臓外科領域の現状

STS National Database 小児心臓外科部門では欧米 16 施設と協力し 12000 例以上を集め、これからアリストテレススコア (疾患難易度と死亡率を考慮した総合的スコア) を算出している。本邦においても小児領域でのデータベース整備が急務と思われる。

(4) 参加施設の見直し

現在全国で 64 施設が参加しているが、いまだに入力がゼロあるいは殆どゼロといった施設も見受けられる。施行手術の全てを入力するという本データベースの趣旨に鑑み、これら入力少数の施設は一度本プロジェクトから脱会していただき、本データベースの趣旨を充分再考して頂いた後に次回施設公募時に改めて参加して頂くこととした。以下に該当した施設を示す。

虎ノ門病院
葉山ハートセンター
国立療養所帯広病院
東日本循環器病院
東邦大学大橋病院
大垣市民病院
名古屋市立大学
琉球大学
愛媛県立中央病院
りんくう総合医療センター

#### (5) 参加施設の募集

本邦における統合的データベースの必要性は急務となりつつあり、基幹施設を中心とした全国の施設に参加を募るべく再度募集を募ることとする。参加条件、応募方法等の詳細は日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会、JACVSD のホームページに掲載する予定である。特に、特定機能病院には全施設に、基幹施設に於いても大多数の施設に参加していただきたく、日本心臓血管学会からも強力なサポートをお願いしたい所存である。

日本心臓血管外科学会、データベース委員会報告  
日本成人心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年7月22日

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。2004年7月21日の時点で入力総症例数 7889 (入力完了数 6118) となった。

(2) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局、岡田昌史による入力プログラムの改良がなされた。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データリアルタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる(資料図1)。

(3) 小児心臓外科領域の現状

STS National Database 小児心臓外科部門では欧米 16 施設と協力し 12000 例以上を集め、これからアリストテレススコア(疾患難易度と死亡率を考慮した総合的スコア)を算出している。本邦においても小児領域でのデータベース整備が急務と思われる。

(4) 参加施設の見直し

現在全国で 64 施設が参加しているが、いまだに入力がゼロあるいは殆どゼロといった施設も見受けられる。施行手術の全てを入力するという本データベースの趣旨に鑑み、これら入力少数の施設は一度本プロジェクトから脱会していただき、本データベースの趣旨を充分再考して頂いた後に次回施設公募時に改めて参加して頂くこととした。以下に該当した施設を示す。

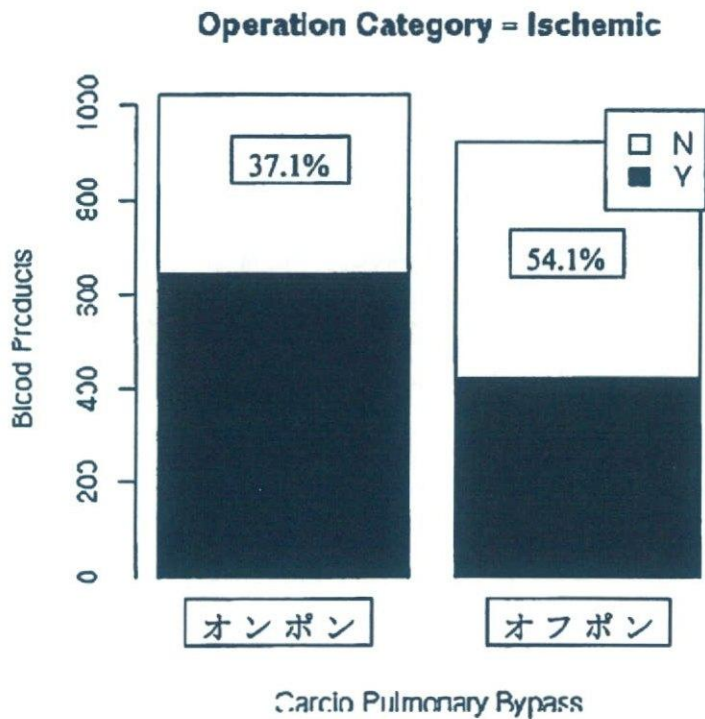
虎ノ門病院
葉山ハートセンター
国立療養所帯広病院
東日本循環器病院
東邦大学大橋病院
大垣市民病院
名古屋市立大学
琉球大学
愛媛県立中央病院
りんくう総合医療センター



(5) 参加施設の募集

本邦における統合的データベースの必要性は急務となりつつあり、基幹施設を中心とした全国の施設に参加を募るべく再度募集を募ることとする。参加条件、応募方法等の詳細は日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会、JACVSD のホームページに掲載する予定である。特に、特定機能病院には全施設に、基幹施設に於いても大多数の施設に参加していただきたく、日本心臓血管学会からも強力なサポートをお願いしたい所存である。

資料図 1 : オフポンプ手術と無輸血率 (総計 1947 例)



Blood Products when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N  
 Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N

	Blood Products when		無輸血率
	Y	N	
Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic	Y 645	N 380	37.1%
	N 423	499	54.1%

Method: Chi-square Test  
 Blood Products when Operation Category = Ischemic and Cardio Pulmonary Bypass when  
 Null Hypothesis: Each groups are independent  
 X-squared = 56.2806

**p = 0**

日本心臓血管外科学会、データベース委員会報告  
日本成人心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年7月22日

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動状況を報告する。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。2004年7月21日の時点で入力総症例数 7889 (入力完了数 6118) となった。

(2) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局、岡田昌史による入力プログラムの改良がなされた。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データリアルタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる(資料図1)。

(3) 小児心臓外科領域の現状

STS National Database 小児心臓外科部門では欧米 16 施設と協力し 12000 例以上を集め、これからアリストテレススコア(疾患難易度と死亡率を考慮した総合的スコア)を算出している。本邦においても小児領域でのデータベース整備が急務と思われる。

(4) 参加施設の見直し

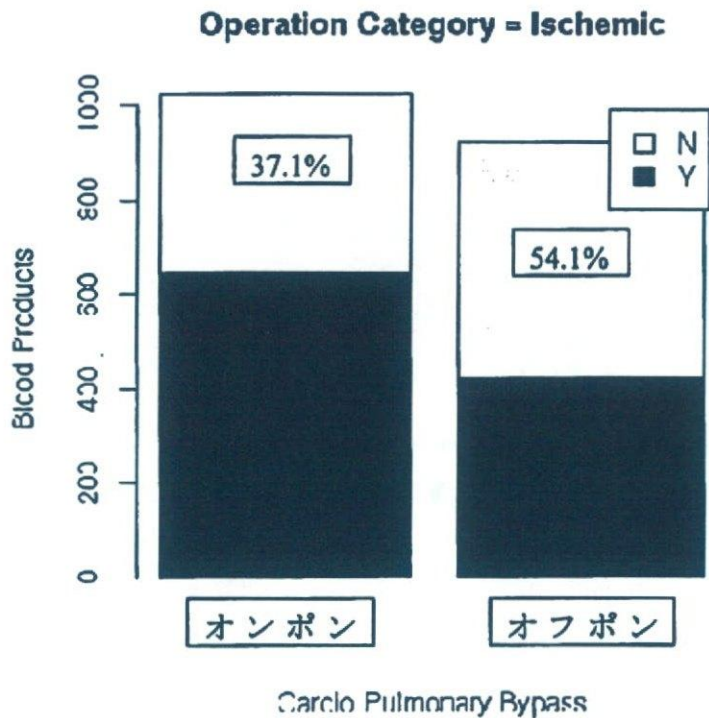
現在全国で 64 施設が参加しているが、いまだに入力がゼロあるいは殆どゼロといった施設も見受けられる。施行手術の全てを入力するという本データベースの趣旨に鑑み、これら入力少数の施設は一度本プロジェクトから脱会していただき、本データベースの趣旨を充分再考して頂いた後に次回施設公募時に改めて参加して頂くこととした。以下に該当した施設を示す。

虎ノ門病院
葉山ハートセンター
国立療養所帯広病院
東日本循環器病院
東邦大学大橋病院
大垣市民病院
名古屋市立大学
琉球大学
愛媛県立中央病院
りんくう総合医療センター

(5) 参加施設の募集

本邦における統合的データベースの必要性は急務となりつつあり、基幹施設を中心とした全国の施設に参加を募るべく再度募集を募ることとする。参加条件、応募方法等の詳細は日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会、JACVSD のホームページに掲載する予定である。特に、基幹施設に於いても大多数の施設に参加していただきたく、日本心臓血管外科学会からも強力なサポートをお願いしたい所存である。

資料図 1 : オフポンプ手術と無輸血率 (総計 1947 例)



Blood Products when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N  
 Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N

	Blood Products when		無輸血率
	Y	N	
Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic	Y 645	380	37.1%
	N 423	499	54.1%

Method: Chi-square Test  
 Blood Products when Operation Category = Ischemic and Cardio Pulmonary Bypass when  
 Null Hypothesis: Each groups are independent  
 X-squared = 56.2806  
 p = 0

日本胸部外科学会、データベース小委員会

活動報告と協力要請

日本成人心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年8月

日本成人心臓血管外科手術データベース Japan Adult Cardiovascular Surgery Database (JACVSD) の活動報告と参加施設拡大に伴った協力を要請します。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続している。2004年7月21日の時点で入力総症例数 7889 (入力完了数 6118) となった。

(2) 入力プログラムの改良

JACVSD 事務局、岡田昌史による入力プログラムの改良がなされた。これにより、入力画面変換速度の向上、入力完了時での基礎統計データリアルタイム出力が可能となり、データマネージャーによる入力効率の改善が図られる(資料図1)。

(3) 参加施設の見直し

現在全国で 64 施設が参加しているが、いまだに入力がゼロあるいは殆どゼロといった施設も見受けられる。施行手術の全てを入力するという本データベースの趣旨に鑑み、これら入力少数の施設は一度本プロジェクトから脱会していただき、本データベースの趣旨を充分再考して頂いた後に次回施設公募時に改めて参加して頂くこととした。以下に該当した施設を示す。

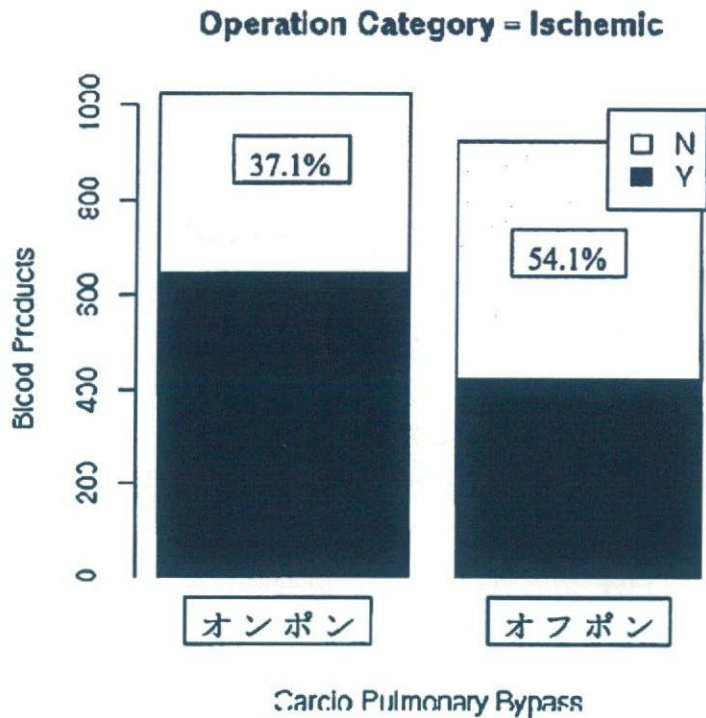
虎ノ門病院
葉山ハートセンター
国立療養所帯広病院
東日本循環器病院
東邦大学大橋病院
大垣市民病院
名古屋市立大学
琉球大学
愛媛県立中央病院
りんくう総合医療センター

(4) 参加施設拡大募集とそれに伴う日本胸部外科学会への協力要請

本邦における統合的データベースの必要性は急務となりつつあり、基幹施設を中心とした全国の施設に参加を募るべく再度募集を募ることとする。参加条件、応募方法等の詳細を日本胸部外科学会のホームページ

に掲載させていただきたい（日本心臓血管外科学会、JACVSD のホームページにも掲載する予定である）。特に、基幹施設に於いては大多数の施設に、特定機能病院には全員に参加していただきたく、日本胸部外科学会からも強力なサポートをお願いしたい所存である。

資料図 1 : オフポンプ手術と無輸血率 (総計 1947 例)



Blood Products when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N

Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic : n=1947, levels=Y, N

	Blood Products when		無輸血率
	Y	N	
Cardio Pulmonary Bypass when Operation Category = Ischemic	Y 645	N 380	37.1%
	N 423	499	54.1%

Method: Chi-square Test

Blood Products when Operation Category = Ischemic and Cardio Pulmonary Bypass when

Null Hypothesis: Each groups are independent

X-squared = 56.2806

p = 0

日本胸部外科学会、データベース小委員会  
日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年9月

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2004年9月27日の時点で入力総症例数 8944 となりました。

(2) 参加施設拡大(第4期)とそれに伴う日本胸部外科学会への協力要請

前回の理事会でも報告しましたとおり日本胸部外科学会のホームページも使わせていただき施設拡大応募を致しました(9/15 締め切り)。その結果新たに 59 施設が加わり、これまでの 54 施設と合わせて 112 施設となりました。

来る胸部外科学会の1日目夜にデータマネージャー会議を開催し、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などの解説を行い、2005年1月から入力開始を行う予定です。

全ての施設での全症例入力を目指し、胸部外科学会アンケートとの照合、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本胸部外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。

日本心臓血管外科学会、データベース委員会  
日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2004年10月

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2004年10月13日の時点で入力総症例数 9345、入力完了数 7428 となりました。

(2) 参加施設拡大(第4期)とそれに伴う日本心臓血管外科学会への協力要請

前回の理事会でも報告しましたとおり日本心臓血管外科学会のホームページも使わせていただき施設拡大応募を致しました(9/15 締め切り)。その結果新たに 59 施設が加わり、これまでの 53 施設と合わせて 112 施設となりました。

本年胸部外科学会の1日目夜にデータマネージャー会議を開催し、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などの解説を行い、2005年1月から入力開始を行う予定です。

全ての施設での全症例入力を目指し、日本胸部外科学会施設アンケートとの照合、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本心臓血管外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。

日本心臓血管外科学会、データベース委員会  
日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2005年2月

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2005年1月31日の時点で入力総症例数 11295、入力完了数 9273 となりました。

(2) 参加施設拡大(第4期)とそれに伴う日本心臓血管外科学会への協力要請

第4期施設拡大により参加施設 112 施設となり、2004/10/20(日本胸部外科学会会期中)、2004/12/19の2回にわたりデータマネージャー会議を開催した。この中で新システム、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などに関する説明を無線 LAN を用いたデモをまじえながら行った。これら説明会の後、2005/1/15より新システムでのデータ入力開始された。

全ての施設での全症例入力を目指し、日本胸部外科学会施設アンケートとの照合、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本心臓血管外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。



日本胸部外科学会、データベース小委員会  
日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)

委員長 高本眞一

2005年2月

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2005年1月31日の時点で入力総症例数 11295、入力完了数 9273 となりました。

(2) 参加施設拡大(第4期)とそれに伴う日本胸部外科学会への協力要請

第4期施設拡大により参加施設 112 施設となり、2004/10/20(日本胸部外科学会会期中)、2004/12/19の2回にわたりデータマネージャー会議を開催した。この中で新システム、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などに関する説明を無線 LAN を用いたデモをまじえながら行った。これら説明会の後、2005/1/15より新システムでのデータ入力開始された。

全ての施設での全症例入力を目指し、日本胸部外科学会施設アンケートとの照合、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本心臓血管外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。

## 日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)報告書

委員長 高本眞一

2005年8月26日

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

### (1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介してのData Collection Formへの記入を継続しており、2005年8月4日の時点で入力総症例数16439(2004年9月27日の時点では8944)となりました。

### (2) 事務局人員の追加

2005年6月から川原ユカリ氏を事務担当として採用し、データ入力状況のチェックその他の業務を遂行させています。

### (3) 入力ソフトメンテナンスの業務委託

これまで入力ソフトのメンテナンスは全て事務局の岡田昌史医師のみに頼っておりましたが、これを株式会社医療企画に一部委託し、業務遂行の向上を図ることとしました。

### (4) 業務遂行に対する日本胸部外科学会への協力要請

来る胸部外科学会でもデータマネージャー会議を開催する予定であり、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などの解説を行う予定です。

全ての施設での全症例入力を目指し、胸部外科学会アンケートとの照合、各施設へのsite visitといったvalidationに力を注ぐ所存ですので、日本胸部外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。

## 日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)報告書

委員長 高本眞一

2005年8月26日

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

### (1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2005年8月4日の時点で入力総症例数 16439 (2004年9月27日の時点では 8944) となりました。

### (2) 事務局人員の追加

2005年6月から川原ユカリ氏を事務担当として採用し、データ入力状況のチェックその他の業務を遂行させています。

### (3) 入力ソフトメンテナンスの業務委託

これまで入力ソフトのメンテナンスは全て事務局の岡田昌史医師のみに頼っておりましたが、これを株式会社医療企画に一部委託し、業務遂行の向上を図ることとしました。

### (4) 会費制の導入

本事業の運営費は学会からの予算と研究費からまかなわれていましたが、今後ソフトウェアのさらなる改良、Site visit の推進に当たり、資金の必要性が生じてきました。従いまして、参加施設からの年会費を徴収したいと考えています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

### (5) 業務遂行に対する日本胸部外科学会への協力要請

来る胸部外科学会でもデータマネージャー会議を開催する予定であり、全症例入力・データ入力方法・統計処理ソフト使用方法、などの解説を行う予定です。

全ての施設での全症例入力を目指し、胸部外科学会アンケートとの照合、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本胸部外科学会としても全面的なご協力をお願いする次第であります。

日本心臓血管外科手術データベース機構(JACVSD)の活動報告と参加施設拡大に関する報告をします。

(1) インターネットを介したデータ収集の継続

インターネットを介しての Data Collection Form への記入を継続しており、2005年8月31日の時点で未完了も含んだ入力総症例数は17766(2004年8月31日の時点では8510)となりました。

(2) 事務局人員の追加

2005年6月から川原ユカリを事務担当として採用し、データ入力状況のチェック、参加施設との連絡、その他の業務を遂行させています。

(3) 入力ソフトメンテナンスの業務委託

これまで入力ソフトのメンテナンスは全て事務局の岡田昌史医師のみに頼っておりましたが、これを株式会社医療企画に一部委託し、業務遂行の向上を図ることとしました。

(4) 会費制の導入

本事業の運営費は学会からの予算と研究費からまかなわれていましたが、今後ソフトウェアのさらなる改良、Site visitの推進に当たり、資金の必要性が生じてきました。従いまして、参加施設からの年会費を徴収したいと考えています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

(5) 業務遂行に対する日本心臓血管外科学会への協力要請

来年の日本心臓血管外科学会でもデータマネージャー会議を開催する予定であり、データ入力状況・入力ソフト改訂状況、などの報告を行う予定です。

全ての施設での全症例入力を目指し、各施設への site visit といった validation に力を注ぐ所存ですので、日本心臓血管外科学会におきましても全面的なご協力をお願いする次第であります。